



「こそあど言葉」① <この>



なまえ



この

物やことからを指す

これ

物やことからを指す

ここ

場所を指す

・こそあど言葉の「こ」「は」は、話し手に近いものを指ししめすときに使います。



① の言葉が指ししめしている言葉の横に線を引いて、矢印でつなぎましょう。

<例>きのうは動物園に行った。そこには、動物がたくさんいた。

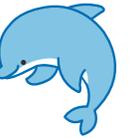
① 今日は、マフラーをしている。これは、姉から借りたものだ。

② きれいな庭でしよう。ここが、わたしのいちばん好きな場所です。

② 次の文にあうこそあど言葉を、○でかこみましょう。

① ようこそ。
どの ○この 部屋が、わたしの部屋です。

② どれ ○これ を見てください。ぼくが育てた、あさがおです。



「こそあど言葉」② <その>



なまえ



物やことからを指す

その

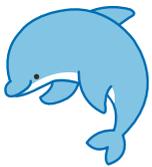
物やことからを指す

それ

場所を指す

そこ

こそあど言葉の「そ」は、相手に近いものを指ししめすときに使います。



① の言葉が指ししめしている言葉の横に線を引いて、矢印でつなぎましょう。

<例>きのうは動物園に行った。そこには、動物がたくさんいた。

① 遠くに海が見えた。それは、とてもきれいだった。

② 学校の近くに図書館がある。そこには、いろいろな本がある。

② 次の文にあうこそあど言葉を、○でかこみましょう。

① 先生がひろった どの その えんぴつは、わたしの物です。

② かわいいノートですね。 その あれ は、どこで買ったのですか。



「こそあど言葉」③ <あの>



なまえ



物やことがらを指す

あの

物やことがらを指す

あれ

場所を指す

あそこ

こそあど言葉の「あ」は、話し手からも、相手からも遠いものを指ししめすときに使います。



① の言葉が指ししめしている言葉の横に線を引いて、矢印でつなぎましょう。

<例>きのうは動物園に行った。そこには、動物がたくさんいた。

① 教室の後ろに絵がはってあります。あれは、ぼくがかきました。

② 駅前にパン屋があります。でも、あそこはいつも、こんでいます。

② 次の文にあうこそあど言葉を、○でかこみましょう。

① すな場にいる
どの どれ
あの 男の子は、わたしの弟です。

② あそこ
どこに小さく見える山が、富士山です。



「こそあど言葉」④ <の>



なまえ



物やことからを指す

どの

物やことからを指す

どれ

場所を指す

どこ

こそあど言葉の「ど」は、指ししめすものはっきりしないときに使います。



次の文にあうこそあど言葉を、○でかこみましょう。

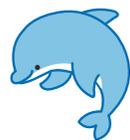
① この中で、いちばん好きな本は どの ですか。

② 明日の休みは、 どこ に遊びに行きたいですか。

③ この写真の中の、 どの 人があなたの妹さんですか。

④ ぜんぶおいしそうなので、 どの から食べるかまよう。

⑤ このまいごのネコは、 どの から来たのだろう。



「ことば」⑤ 〈練習〉

なまえ



文ぶんがつながるように、にあう言葉ことばを、から選えらんで書かきましょう。(むずかしいときは、下のヒントのマークを見みましょう。)

この  そこ  あの  どれ  どこ 



① むこうにいる あ の 中ちゅう学生がくせいは、ぼくの兄あにだ。



② 先せん月げつケーキ屋やができた。 そ こ のケーキはおいしい。



③ わたしが今いま着きている こ の 服ふくは、姉あねからもらった。



④ 昨日きのうは、 ど こ に遊あそびに行いったのですか。



⑤ 種類しゅるいが多おほすぎて、 ど れ を買かうかまよってしまっう。





「こそあど言葉」⑥ <チャレンジ>

なまえ



次の会話を読んで、()にあう言葉を、から選んで書きましょう。(むずかしいときは、下のヒントのマークを見ましょう。)

この 

あの 

どこ 



① 「あなたが持っているその本は、どこで借りたのですか。」

「この本は、駅前の図書館で借りました。」



② 「先月の連休は、どこに行ったのですか。」

「先月の連休は、どこにも行きませんでした。」



③ 「あの遠くに見える山の中の、どれが富士山なのですか。」

「あのいちばん高い山が、富士山です。」

